



化学物質等安全データシート



1. 化学物質等及び会社情報

法人名 : 独立行政法人 産業技術総合研究所
住所 : 茨城県つくば市梅園 1-1-1
担当部門 : 計量標準総合センター 計量標準管理センター 標準物質認証管理室
担当者 : 認証標準物質担当
電話番号 : 029-861-4059 ファックス番号 : 029-861-4009
緊急連絡電話番号 : 同上

作成日 : 2010年11月9日

整理番号 : 5804001

化学物質等の名称 : 認証標準物質 NMIJ CRM 5804-a 熱拡散率測定用等方性黒鉛
(Isotropic Graphite for Thermal Diffusivity Measurement)

2. 危険有害性情報の要約

GHS分類 : 分類できない
GHSラベル要素 : 分類できない
注意喚起語 : —
危険有害性情報 : 分類できない 可燃性、粉じん爆発性あり。
その他の有害性情報 : 吸入または飲み込んだ場合有害である。
眼、粘膜に接触すると刺激作用がある。
長期暴露により、不快感、吐き気、頭痛などの症状を起こすことがある。
注意書き : [予防策]
通常の手扱いは危険性は低い。取扱いの際には、適切な保護具を使用する。
[対応]
目、皮膚に接触した場合、洗い流す。医師に相談する。
[保管]
強力な酸化剤から離しておく。
室温 23°C±5°C、相対湿度 50%以下での保存を推奨する。

上記で記載が無い危険有害性は分類対象外または分類できない。

3. 組成、成分情報

単一製品 混合物の区別 : 単一製品混合物
化学名 : 黒鉛
別名 : 石墨、グラファイト
含有量 : 99.99%
化学式又は構造式 : 分子式 : C
分子量 : 288.26
官報公示整理番号 : 化審法 : —
安衛法 : —



CAS 番号 : 7782-42-5 (Graphite)
TSCA : Graphite
EINECS : 231-955-3 (Graphite)
危険有害成分 : —

4. 応急措置

眼に入った場合 : 数分間多量の清浄な水で十分に洗い流す。医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合 : 清浄な水で十分に洗い流す。必要に応じて医師の診断を受ける。
吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努める。医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合 : 水で口をすすぐ。安静にする。医師に連絡する。
予想される急性症状 : —
及び遅発性症状 : —
最も重要な特徴 : —
及び症状 : —
応急処置をする者の保護 : —

5. 火災時の措置

消火剤 : 水噴霧、泡消火薬剤、粉末消火薬剤、二酸化炭素を使用する。
特有の消火方法 : 適切な消火剤等を使用して消火する。消火活動は、可能な限り風上から行う。消火剤等により環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周囲を水噴霧で冷却する。
消火を行う者の保護 : 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。消火作業の際は、必ず保護具を着用する。
火災時に特に注意すべき点 : 空気中での着火温度500~600℃以上。大量にある場合は自然発火を起こしたり、粉末が空気中に一定量以上浮遊している場合に粉じん爆発を起こしたりする可能性がある。
燃焼生成ガスが発生する（一酸化炭素、二酸化炭素）。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
保護具及び緊急時措置 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には、自給式呼吸器、ゴム長靴および厚手ゴム手袋など、適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入したりしないようにする。
環境に対する注意事項 : 漏る出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出されないように注意する。
回収、中和 : こぼれたものを掻き集めて密閉できる空容器に回収する。湿らせてもよい場合は、粉じんを避けるために湿らせてから掻き集める。回収後、多量の水で洗い流す。



二次災害の防止策 : 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。風上から作業して、風下の人を退避させる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 火気厳禁。
高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。
- 局所排気・全体換気 : 屋内作業場における取扱い場所では、粉じんが発生する場合は、局所排気装置を使用する。
- 安全取扱注意事項 : 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。
漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
使用後は容器を密閉する。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。
休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではならない。
取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れたりしないように、適切な保護具を着用する。

保管

- 適切な保管条件 : 直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。
- 安全な容器包装材料 : ポリエチレン

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度 (物質名) 黒鉛

- ・ACGIH TLV-TWA (2010年) : 2mg/m³
- ・日本産業衛生学会勧告値 (1998年) : 設定無し
- ・OSHA PEL TWA : 設定無し

設備対策

- 換気・排気 : 粉じんが発生する場合は、局所排気装置又は全体換気装置を設置。
- 安全管理・ガスの検知 : 測定器、検知管。
- 貯蔵上の注意 : 床面に沿って換気。密封。可燃性及び還元性物質、強酸化剤から離しておく。

保護具

- 呼吸器の保護具 : 防じんマスク。
- 手の保護具 : 保護手袋。
- 目の保護具 : 安全ゴーグル。
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣、顔面シールド。

衛生対策

—



9. 物理的及び化学的性質

- ・外観等 : 塊状
- ・色 : 黒色
- ・臭い : データなし
- ・pH : データなし
- ・融点 : 3338℃
- ・沸点 : 3700～4300℃
- ・引火点 : データ無し。ただし、特定の条件下で可燃性あり。
- ・爆発範囲 : データ無し。ただし、粉末又は顆粒状で空気と混合すると爆発性あり。

- ・蒸気圧 : 0.001Pa (2000℃)
- ・比重又は嵩比重 : 1.7～1.9 程度
- ・溶解度 : 水への溶解性なし
- ・自然発火温度 : データ無し。ただし、特定の条件下で可燃性あり。
- ・導電性 : あり

10. 安定性及び反応性

- ◇安定性
 - ・通常条件で安定である。
- ◇反応性
 - ・常温でふっ素と反応する。
- ◇避けるべき条件
 - ・強酸化剤と混合しない。
- ◇危険有害な分解生成物
 - ・データ無し

11. 有害性情報

その他 本品に関する有毒性についての情報は、最前の方法で調査しているが、未知の有毒性があるものとして取り扱いには十分注意を払うこと。

12. 環境影響情報

- 分解性・濃縮性
 - データなし
- 生態蓄積性
 - データなし
- 生態毒性
 - データなし



13. 廃棄上の注意

- ・埋立処分可能。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 該当なし
国連分類	: ー
品名	: ー
容器等級	: ー
ICAO/IATA	: ー
海洋汚染物質	: 該当なし
注意事項	: 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

◇労働安全衛生法

法第 57 条の 2 (令第 18 条の 2) 名称等を通知すべき有害物 No. 130

◇船舶安全法

危規則第 3 条危険物等級 4.2 自然発火性物質 (正 4.2 容器等級 2,3)

◇港則法

施行規則第 12 条危険物 (自然発火物質) (等級 3 のものを除く)

16. その他の情報

引用文献

- ・化学品安全管理データブック (増補改訂第 2 版) (2000)
- ・14303の化学商品 化学工業日報社 (2003)
- ・国立医薬品食品衛生研究所 国際化学物質安全性カード: グラファイト (天然)
- ・独立行政法人 国立環境研究所 Webkis-plus (化学物質データベース): Graphite
- ・独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム (CHRIP): 黒鉛
- ・神奈川県環境科学センター 神奈川県化学物質安全情報提供システム: 黒鉛
- ・新・炭素材料入門 炭素材料学会編 株式会社リアライズ (1998, 第 2 版)

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を目的としており、取扱い上のいかなる保証をなすものではありません。
